

## 平成 23 年度 室内環境学会第 3 回役員会議事要旨

日 時：平成 23 年 9 月 12 日（月）10:00～12:00  
場 所：(株) アイデック 5 階会議室  
出席者：小野、中井、東、関根、篠原、野崎（以上実出席）、雨谷、柳、樺田、濱田（委任出席）  
事務局：中島、色摩（実出席）、松木（委任出席）  
欠 席：柳沢  
議事次第

### 1) 平成 23 年度学術大会準備状況報告

文書により報告があった。大会ホームページを作成したこと、大会長奨励賞には 3 段階のカテゴリーに分けた等の報告があった。

### 2) 平成 22 年度学生懇談会報告

関根世話人から 2010 年 12 月 9 日に開催された標記懇談会の報告があった。1. 学生懇談会の継続、2. 学生ナイトミーティングの開催、3. 学会誌での学生コラムコーナーでの研究室紹介、が提案された。

### 3) 委員会等報告

学術委員会：東委員長より報告があった。建築学会での二酸化窒素とオゾンの学会規準を検討することになっており、委員も当会のメンバーと重複する部分が多いことから、両学会が連携し、当会では一般向けのガイドライン策定を進めるとの提案があった。WG として対応することとなった。なお権利関係の整理が必要との指摘があった。続いて会員向けの補助金制度の原案が提出され、了承された。助成期間については 4 月-3 月とした。学会予算から支出可能かどうか懸念が示されたが、年度ごとの予算状況に応じた対応をすること、企業からの寄付も含めて検討することとした。一方出版委員会から、広報委員会・出版委員会・大会等で個別に募っている広告について、窓口を一本化してはどうかの意見が出された。当会での広告関係を事務局で整理することとした。  
化学物質分科会：関根代表より、5 月の分科会の他、8 月に震災関連緊急報告会を、9 月の分析展ではセミナーを開催し、10 月には勉強会を予定しているとの報告があった。大会での分科会報告について質問があり、本日欠席（委任出席）の大会長に問い合わせることとした。

出版委員会：関根委員長より学会誌の発行、出版

委員会の開催状況などについて報告があった。査読者への感謝状の贈呈について提案があった。毎年若干名、大会の懇親会での表彰を考えていると報告された。査読方針について出版委員会で検討した結果、査読者は査読終了後に開示すること、却下の場合には開示しないことがある、こととした旨報告された。また査読者には、事前に論文内容や著者に対して利害関係がないことの署名を求めているかどうかの意見が出された。

事業委員会：第 1 階講演会について、57 名の参加があった旨等について文書で報告された。

広報委員会：篠原委員長より報告があった。今年のポスターを作成中であり、大会前に完成して会員に送付予定とのこと。いくつかの原案が提出され、閲覧した。また新 HP については修正を重ねてゆくとの発言があった。

社会連携委員会：中井委員長より報告があった。韓国の学会での講演は篠原先生にお願いすることになったこと、中井委員長は国際連携について打ち合わせをしてくるとの発言があった。なお大会 HP の英語版の要望があった他、学会誌の英文投稿規定を作成するよう依頼があった。大会については図表とキャプションを英文または和欧併用とすることが提案された。併せて学会誌の図表については出版委員会で議論して欲しいとの要望があった。これに対して出版委員会から英文化に伴う費用援助の申し出があり、了承された。

### 4) JST アーカイブ事業進捗状況

事務局より、JST アーカイブ (Journal@rchive) 事業へ応募した結果選定され、作業に入った旨報告があった。続いて篠原広報委員長より J-STAGE に関する報告があった。まず J-STAGE について簡単な説明があった後、学会側の必要な作業、決定すべき事項及び今後のスケジュールが示された。今後の作業分担について、費用の確保を含めて検討中であるとのこと。最短では 2012 年初頭に公開可能との見通しが示された。また現在は非会員に対して 5 年間のアクセス制限をしているが、この期間の見直しが課題として認識された。

### 5) 大船渡市からの依頼について

事務局より、大船戸市長からの「東日本大震災に対する支援について（依頼）」について説明があった。現状では、学会として組織的な活動ができおらず、予防環境協会等、有志の会員が先行して活動しているに過ぎないのが現状との認識が示された他、本会としての協力に関しては慎重な議論が必要と確認した。現地の情報も不明なため、市と連絡を取ることも必要とされた。これに関連し、中央共同募金会へ助成申請を行ったと報告があった。

#### 6) その他

・小野会長より、本会の法人格取得の必要性について言及があり、具体的な議論を行うWGを立ち上げ、社会連携委員会とも連携しながら検討したいとの提案があった。

・標準化法の 20110001 号の現状について質疑応答があった。

・事務局より会員動向について、増減なしと報告があった。

・事務局より、委員会等の旅費規程が示され、確認があった。

・新技術振興渡辺記念会に地域文化財保全分科会から研究助成の申請をした旨、報告があった。

・中井社会連携委員長より、連携する韓台学会への講師派遣体制を準備しておく必要があるとの発言があり、検討することとした。

・次回役員会は 12 月 7 日、大会時に開催することとした。

以上